

【就職氷河期世代 教養】 例題 1

持続可能な開発目標（SDGs）に関する次の記述ア～エのうちには下線部分が妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. SDGs は、2015年の国連持続可能な開発サミットで採択された、2100年を達成年限とする国際目標である。
- イ. SDGs の目標は、極度の貧困の半減や普遍的な初等教育の達成など、主として発展途上国向けのものである。
- ウ. SDGs の目標を達成するためには、各国政府だけでなく、民間企業や市民団体、各個人に至るまで、全ての人や団体の行動が求められている。
- エ. SDGs の目標の一つに飢餓の撲滅がある。長年、飢餓に苦しむ人々への食料支援などに取り組んできた国連機関の世界食糧計画（WFP）が2020年のノーベル平和賞を受賞した。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

〔正答 5〕

【就職氷河期世代 教養】 例題2

第二次世界大戦前後におけるドイツを中心としたヨーロッパに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 1930年代にドイツでナチスが政権を握った。ナチスは、ユダヤ人からの経済的支援を期待し、ユダヤ人を優遇した。
2. 第二次世界大戦では、ドイツは、イギリスとともに枢軸国の中心として、フランス、ソ連、イタリアを中心とする連合国と戦った。
3. 大戦中、ドイツは、西ヨーロッパ諸国のほぼ全域を占領したが、ポーランドなど東ヨーロッパ諸国を占領することはできなかった。
4. 大戦中、ドイツの占領を受けた地域では、民衆がドイツの支配に対して、いわゆるレジスタンスと呼ばれる抵抗運動を展開した。
5. 大戦後、戦勝国による戦後処理の結果、ドイツは、全域がアメリカによる統治下に置かれることとなり、数年後に一つの国として独立が認められた。

〔正答 4〕

【就職氷河期世代 教養】 例題3

A～Gの7人が写真撮影のためにカメラの方を向いて横一列に並んだ。次のことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。

- ・ AはBよりも左におり，間には4人いた。
- ・ CとDは隣り合っていた。
- ・ CとFの間には2人いた。
- ・ DとEの間には3人いた。

1. AとDの間には1人いた。
2. AとFは隣り合っていた。
3. BとCは隣り合っていた。
4. BとGの間には1人いた。
5. CとGの間には1人いた。

〔正答 5〕

【就職氷河期世代 土木 専門】 例題 1

トラバースの種類に関する次の記述 A～C に当てはまるものの組合せとして
妥当なのはどれか。

- A. 終点の座標が未知なトラバースであり、測量の正確さを確かめられないので、高い精度を必要としない場合に用いられる。
- B. ある点から始まり、最後にふたたび出発点に戻り、全体で一つの多角形をつくるトラバースである。
- C. 既知点を結び、既知点の間の新点（未知点）の位置を求めるトラバースである。

A	B	C
1. 結合トラバース	開放トラバース	閉合トラバース
2. 結合トラバース	閉合トラバース	開放トラバース
3. 開放トラバース	結合トラバース	閉合トラバース
4. 開放トラバース	閉合トラバース	結合トラバース
5. 閉合トラバース	結合トラバース	開放トラバース

〔正答 4〕

【就職氷河期世代 土木 専門】 例題 2

盛土及び切土の土工に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

切土や盛土によってできる傾斜面を法面という。このような法面のうち長い傾斜面を有する切土法面や盛土法面には、法面の安定性、及び排水溝による表面水の処理などのために小段が設けられる。

盛土は、その目的、盛土材料の種類、施工方法などに応じて、透水性をさせ、必要な強度を得るほか、完成後の変形抵抗及び圧縮抵抗を確保するため、入念に締固めを行う必要がある。盛土の締固めの一般的な品質管理方法に、室内試験で得られる土の最大と、現場で測定された土のとの比で表される締固め度を使用するものがある。

	A	B	C
1. 点検用の通路		上昇	湿潤密度
2. 点検用の通路		上昇	乾燥密度
3. 点検用の通路		低下	乾燥密度
4. 野生動物の移動経路		上昇	湿潤密度
5. 野生動物の移動経路		低下	乾燥密度

【正答 3】